

ID番号	7
------	---

※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

ユースケース	⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。 <input checked="" type="checkbox"/> ①生産現場における課題を解決するためのツール <input type="checkbox"/> ②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール <input checked="" type="checkbox"/> ③事務における課題解決ツール <input checked="" type="checkbox"/> ④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール <input type="checkbox"/> ⑤自社製品をIoT化するためのツール <input type="checkbox"/> ⑥データの活用全般に関わるツール <input checked="" type="checkbox"/> ⑦人材育成の観点で活用できるツール				
	ツール名	Teachme Biz			
候補者	(フリガナ) スズキサトシ	他 名	企業名/学校名 団体名/個人名	(フリガナ) カブシキガイシャスタディスト	
	鈴木悟史		株式会社スタディスト		
企業区分	<input type="checkbox"/> 大企業	所在地	東京都	開発形態	<input checked="" type="checkbox"/> 既存のモノを利用 <input type="checkbox"/> 新規開発
	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業			開発費用	<input checked="" type="checkbox"/> 分からない
	<input type="checkbox"/> 学生				<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> その他 ()				円

ツールのPRポイント	
◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内 Teachme Bizは、スマホやタブレットで簡単にマニュアルが作成・共有できるクラウドサービスです。製造現場や間接部門での多様な業務手順を、写真や動画を組み合わせて共有できます。若手技術指導、海外展開時の業務指示、間接業務のアウトソーシング化などに有効です。現在開発中のIoTパッケージでは、センサー(例:明るさ、音量、重量など)で設備や機器等を常時監視し、異常値を検知した時のみ、マニュアルを自動配信し、的確な対応指示ができます。機械化、自動化できない「人」の業務の効率化、合理化を支援します。	
◎導入容易性やコストパフォーマンス ※500字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのどういった効果が期待できるか) Teachme Biz単体の利用料金は、月額5,000円～50,000円程度と中小企業でも負担可能な価格帯です。主な期待効果は以下のとおりです。 ①技術指導、技術伝承にかかる【育成コスト】が大幅に軽減されます。人件費や印刷費、旅費等、熱心であるほど増大するコストを抑制できます。また、属人化リスクを抑え、人材流動性を確保できます。 ②実務に伴う【作業コスト】も軽減できます。迷わなくなる、間違えなくなるだけでなく、定型業務のアウトソーシング化にも活用できます。 ③現在開発中の「Teachme Biz IoTパッケージ(仮称)」(別途料金が必要)のセンサー活用により、設備メンテナンスの効率向上、トラブル未然防止を行い【メンテナンスコスト、トラブル対応コスト】も軽減できます。 このように定常時・異常時、直接業務・間接業務等に関わらず、伝達コストや作業コストを軽減することができ、トータルでの大きな効果が期待できます。	
◎導入波及性や有効性、安全性 ※500字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等) Teachme Bizは、クラウド型システムであり横展開も容易に行なえます。利用用途の拡大、メンバーや部門、利用拠点の拡大(国内外問わず)にも柔軟に対応できます。コスト面でも、スモールスタートで効果検証した上で、必要に応じて段階的に拡大可能であり、過剰なコストがかかりません。また、IoTパッケージ(現在開発中)では、監視・通知・実行・実績管理というPDCAサイクルを一気通貫で支援できるようになり、さらなる用途の可能性も広がります。※詳細後述 セキュリティ対策も万全を期しています。ユーザー側としては、ID/PW管理、IPアドレスによるアクセス制限、端末紛失時のアクセスロック等、定常時・非常時双方のセキュリティ機能を有しています。サービス運営側としては、サーバーのセキュリティ対策(不正アクセス監視、脆弱性診断)や、企業としてISMS(ISO27001)の認証取得などを行っております。これまでも、国内大手有名企業のセキュリティチェックをクリアした実績もあり、必要十分なセキュリティ対策は講じております。	
◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内 マニュアルを作成する際の流れは、以下の4ステップのみです。 ①写真や動画を撮影し、並べる。 ②強調したい点を、画像内にマーキングする ③説明文を記入する ④公開する これらの4ステップで、いつでも、どこでも、誰でも簡単にマニュアルや手順書が作成できます。マニュアル作成に特化したツール・デザインであるため、出来栄え(見栄え)のバラつきが起きません。また、クラウドで共有することにより、データを一元的に管理・運用できるようになるため、マニュアルの“四重苦”(作成、配布、更新、管理)も解消されます。また写真や動画主体となるため、特定言語に依存しない(非言語化)が可能となり、海外展開時または外国人スタッフの受け入れ時にも非常に有効です。	
記載事項チェック欄 <input type="checkbox"/> 印刷時に枠内に文字が収まっているか。	

(様式2)「案件の自由記述及び、概要図・写真」

◎自由記述 ※1500字以内 導入事例・実績、導入支援体制(有れば)等記載、その他概要図、写真の貼付も可 ※4点

■導入実績と導入支援体制

Teachme Bizは、2013年10月の販売開始以降、約1,100社の有償導入実績を有しています。東京三菱UFJ銀行様、損保ジャパン日本興亜様、星野リゾート様といった大手企業から、社員数名の製造業(切削加工)の中小企業まで、業種・業界・規模を問いません。これらの実績は(もちろん業務内容の違いはあるものの)「業務の手順を伝達する」という行為自体の共通性が高く、それに対するTeachme Bizの有効性を示すものと考えます。

また導入時の支援体制も構築しております。有償ご利用者に対しては、訪問またはオンラインによる初期操作サポートを提供しており、「導入したけど使いこなせなかった」「使い方がわからなかった」というITツールに起きがちな問題への対策も講じています。ITツールに長けた方ばかりでない中小企業に対しては、このようなアナログな支援も有効であることを感じています。

■今後のサービス展開

Teachme Bizの提供形態・サービスも今後多様化していく方針です。特にIoTの領域では、センサーと組み合わせた「Teachme Biz IoTパッケージ(仮称)」を開発中です。

製造業の現場における現場のトラブル監視や、ビルメンテナンスなどの設備保全の領域においては、監視・通知・実行・実績管理というサイクルが営まれています。従来のTeachme Bizはマニュアル、手順書として「実行」領域の支援に強みを有しています。他方、一般的なセンサー類やIoTサービスは「監視」「通知」領域を高度に行えるものの、通知後の具体的な実行や実績管理の面では(特に、人が何らかの行動をすべき領域では)連携が不十分な面が否めません。

「監視はできる。通知も届く。でも、いざアラームが鳴っても現場でどう対応すればよいかわからない。」という課題に対応するために、センサーとTeachme Bizを組み合わせたIoTパッケージが有効となります。

■中小企業でのIoT活用に向けて

中小企業は予算面の成約が大きく、高額な完全自動の製造システムの構築は現実的ではありません。データや数値等の「デジタル」な情報と、人による「アナログ」な行動とを、コスト面も含めてベストミックスで成立させたいくみの構築が求められています。

Teachme Bizは、マニュアルツール単体としても、またセンサー等と組み合わせた場合でも、必要十分なものを段階的に導入できる「身の丈にあったクラウドサービス・IoTサービス」を目指しております。



図1: Teachme Bizはたった4ステップでマニュアルを作成・公開できる

図2: 製造業での活用事例も多数



図3: 監視、通知、実行、実績管理のサイクルは、通常「通知」どまり



図4: Teachme Biz IoTパッケージでは実行、実績管理の部分(=アナログな人の行動)を支援可能

記載事項チェック欄

- 印刷時に枠内に文字が収まっているか。
- 図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

Teachme Biz(ティーチミービズ)

ひとことPRコメント(15文字以内)

クラウド型 簡単マニュアルツール

参考Webページ(URL)

<https://biz.teachme.jp/>

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	株式会社スタディスト
住所	〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-3 千代田トレードセンタービル5F
電話番号	03-6206-9330
メール	support@teachme.jp
ホームページ	https://biz.teachme.jp/
担当者名	庄司啓太郎(しょうじけいたろう)